

小学校・高学年

家庭学習の手引き



©横芝光町2013

平成30年4月

横芝光町教育委員会

【おうちの方へ】

1 家庭学習の手引きについて

小・中学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。学校では、そのために必要となる基礎学力を身につけ、高めるための努力をしていますが、家庭との協力によって、その成果を何倍にも高めることができます。

「学ぶ力」とは、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通しをもって考える力のことを言います。家庭学習を毎日続けることで、しっかりとした考え方や集中力だけでなく、学習習慣が身につく、困難なことに出会っても逃げないで積極的にチャレンジしようとする力が備わります。家庭学習の定着は、子どもの主体性や自律性を伸ばし、夢をふくらませ、目標をもって人生を心豊かに生きる力となって、将来への大きな財産となるのです。

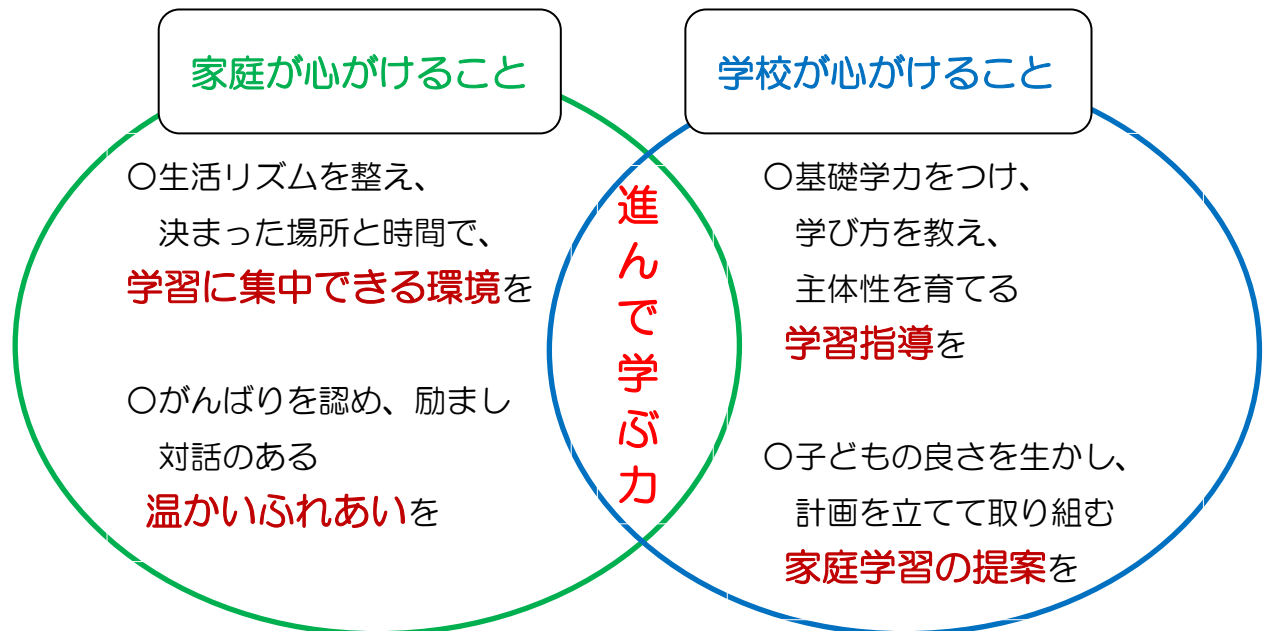
家庭学習充実のために、この冊子を十分に活用して欲しいと思います。



2 家庭を「学ぶ力」を育む環境に

「学ぶ力」は、子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。また、子どもは、家庭に認められ励まされることで、「見守られている」という安心感の中に、「頑張ったよかった」という達成感を抱き、自分らしさや努力をすることに自信をもつようになります。

学校と家庭とが協力し合って、子どもの「学ぶ力」を育てていきましょう。



○家庭（保護者）と学校（教師）とが、家庭学習の習慣化を目指して協力し合うことが、子どもの心を耕し、「学ぶ力」を育てます。

○子どもの家庭学習が充実するよう、学びの環境を整え、家族の温かいふれあいを増やしていきましょう。

3 「家庭学習」を習慣付けるための3つのポイント



ポイント1 時間を大切にすることを育てましょう

○時間を大切にすることで、計画性が養われます。

子どもには、「やりたいこと」、「やるべきこと」、「やらなければならないこと」がたくさんあって、子どもは子どもなりに、毎日時間に追われているのです。

しかし、自分の時間をどう使ったらよいのかわからず、「やりたいこと」が優先され、「やるべきこと」が後回しになり、つい携帯電話やメール、ゲーム等に時間を費やしてしまうなど、時間を無駄に過ごしてしまいがちです。

時間の使い方を本人まかせにしないで、自主性を尊重しながらも、家庭のスケジュールを決めて学習時間を確保するなど、親がある程度管理をしてあげることが必要です。

ポイント2 認めて・褒めて・励まして・やる気を育てましょう

○子どもとのコミュニケーションの中に、やる気を引き出すチャンスがたくさんあります。

学習に対する意欲は、「できた!」「わかった!」という子どもの達成感と、「すごいね」「よくできたね」という褒め言葉や認めてあげる言葉によって高まります。

叱られてやる気になることは少ないと思います。子どもの気持ちに寄り添って、「認めて・褒めて・励まして」あげることが、やる気を育てることにつながります。

ポイント3 読書や体験を通して、子どもの学びを深めましょう

○「読書好き」は「学び上手」につながります。

学力を高める上で、即効性がないかのように見える「読書」。しかし、「読書」によって「考える習慣」を身に付けておかないと、土台のないところに家を建てるのと同じで、学力は向上しません。

○体験は心をたがやし、豊かな感性を育みます。

体験は人を磨きます。体験することで得られる感動や喜びは、子どもたちを次の興味へと導いていきます。感性が鋭いこの時期だからこそ「見て、ふれて、確かめる」体験を積むことは、とても大切なことです。

小学校5・6年生

自学自習の習慣を身に付ける

5・6年生では

自分で行動しようとする意欲が大きくなり育ちます。周りは、自分にどのように接してくれるかなど、大人の評価が気になる時期です。家族の言葉かけやアドバイスで、学習に対する意欲や興味・関心が高まります。目標を決めて努力できるように、温かく見守りながら励ましましょう。

学習時間のめやす

50~60分

10分×学年

学習の特徴

- 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 筋道を立てて考える力や、広い視野で物事を見る力が必要になってきます。
- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を身に付けることができます。

家庭での援助

- 帰宅時間も遅くなります。その日の予定をきちんと立て、学習する時間帯の設定をするなど、見通しをもった学習をさせましょう。
- 「やればできる」という気持ちをもたせ、子どもの自己肯定感を育てるように、ほめたり励ましたりすることが大切です。
- 家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようにしましょう。
- 学習する場所を決め、整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。
- 生活リズムの乱れは、勉強嫌いや学力低下につながります。特にインターネットの利用にはルールを作り、使用時間を決めて、できるだけ家族共用の場所に設置しましょう。

家庭学習の内容

国 語

(音読)

○情景を思い浮かべながら、感情を込めて読むなど、自分の目当てを決めて練習しましょう。

○詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりしてみましょう。

(漢字)

○漢字の構成や字形を意識して、練習しましょう。

○短文作りにも取り組みましょう。

(言葉)

○国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に使いましょう。

○自分の気持ちを考え、整理して日記を書いてみましょう。

(読書)

○いろいろな分野の本を選んで、読むように心がけましょう。この時期は「伝記」を読むことをおすすめします。

○親子で同じ本を読んで感想などを話し合い、親子の会話から自分の考えを深めたり、広げたりしましょう。



算 数

○計算力を向上させるために、間違いやすい計算は繰り返し練習しましょう。

○筆算は、ノートの線を使って位をそろえながら計算練習をさせましょう。

○答えの確かめを、自分でできるようにしましょう。

その他

○学校での学習内容を繰り返しながら、教科書やノート、プリントなどを参考にして、自主的に勉強したり、苦手な内容に取り組んだりしましょう。

○日記や感想文など、文章を書く機会を増やしましょう。

○理科で星の観察をしたり、社会で学習する生産物について調べたりするなど、調べ学習を行いましょう。

○家庭科で学習したことを家庭生活で実行したり、家事の分担を考えたりすることなどを通して、家族の一員としての自覚をもたせていくことも大事な学習です。

○学校で学んでいる英語の授業について話題にしてみましょう。子どもと一緒にもう一度英語を学んでみようという姿勢で、会話の中に英語を使ってみましょう。そうした姿を見て、子どもも励まされます。

こんな勉強をしよう

(5・6年生)

- 1 はじめに宿題をします。
わからないところは、お家の人や先生に教えてもらいましょう。
- 2 続いて、次のような学習をしましょう。



勉強時間の目安

50～60分

【国語】(例)

おすすめ	学習の仕方
1 教科書を読む。	○今、学習をしているところを、1日1回以上音読します。
2 漢字を練習する。	<p>【教科書やドリルをつかって】</p> <p>①漢字のところを、3回読みます。</p> <p>②ひらがなのところを見て、ノートに漢字に直して書きます。</p> <p>③もう一度漢字のところを見て、答え合わせをします。</p> <p>④まちがえていた字は、ノートに1行書きます。</p> <p>○漢字を使った熟語を調べて書きます。</p> <p>○習った漢字を使って短文を作り、ノートに書きます。</p> <p>○部首や画数を調べて、ノートに書きます。</p>
3 意味調べをする。	<p>①語句を写します。</p> <p>②辞典で意味を調べます。</p> <p>③例文を写します。</p> <p>④調べた語句を使って短文を作り、ノートに書きます。</p>

☆1～3がおわったら次にチャレンジ！

○大事なことをまとめる。	○学習したことの中で大事なことを、自分なりにノートに工夫してまとめてみます。
○視写をする。	○教科書の文を、ていねいにノートにうつします。 ※ (、) や (。)、(「 」)、マスの使い方に気をつけて写します。
○日記を書く。	○題や月日を書きます。 ○できごとや気持ちを、わかりやすく書きます。 ○習った漢字や語句を使って書きます。 ○会話の「 」や、だんらくに気をつけて書きます。
○読書をする。	○いろいろな本を読みます。図書館で借りてもいいですね。

【算数】（例）

1 復習をする。	<p>①学校で学習した問題を、もう一度ノートにやってみます。 ※文章問題は、問題文を写します。</p> <p>②算数ノートを見て、答え合わせをします。</p> <p>③まちがえたときは、もう一度やってみます。</p>
2 計算の練習をする。	<p>【教科書やドリルを使って】</p> <p>①番号を書き、問題をノートに写して書きます。</p> <p>②式や答えを書きます。（筆算も書きます。）</p> <p>③答え合わせをします。</p> <p>④まちがえた問題は、お家の人や先生に聞いて書き直します。</p> <p>○時間を計って、記録していきます。</p>
3 予習をする。	<p>○次に学習するところを読み、解いてみます。</p> <p>○わからなかったところを、チェックしておきます。</p>

【社会】（例）

1 復習をする。	<p>①学校で学習をしたところを、もう一度自分なりにノートに工夫してまとめてみます。</p> <p>②図やグラフなどの資料からわかることを書きます。</p> <p>③社会のノートを見て、まとめたことがまちがっていないかたしかめます。</p>
○調べ学習をする。	<p>○学習したことと関係のあることについて、本やインターネットなどで調べて書きます。</p> <p>○調べた感想や疑問なども書きます。</p>

【理科】（例）

1 復習をする。	<p>①学校で学習をしたところを、もう一度自分なりにノートに工夫してまとめてみます。</p> <p>②理科のノートを見て、まとめたことがまちがっていないかたしかめます。</p>
○調べ学習をする。	<p>○学習したことと関係のあることについて、図かんや本、インターネットなどで調べて書きます。</p> <p>○学習したことと関係のある実験や観察をして、結果や記録を書き、調べた感想や疑問なども書きます。</p> <p>○千葉県教育委員会のホームページにある「ちばっ子チャレンジ100」も活用してみましよう。</p>

横芝光町立

小学校

年 組 番 名 前